みなと SDGs パートナー 登録申請書

_2022年8月30日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企	業	• 5	体	名	川崎臨港倉庫埠頭株式会社
所		在		地	川崎市川崎区千鳥町7番1号
代	表者	役 職	・氏	:名	代表取締役 髙橋 哲也
+0	MZ	± '=	. 4⁄2	#	電 話:044-589-5919
担	=	者 追	絡	先	メール:h.ikegame@rinko-soko.co.jp
ウ	ェブ	サイ	- U F	l L	http://www.rinko-soko.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は、昭和35年に設立された倉庫業を営む川崎市が出資する第三セクターであり、平成26年度よりコンテナターミナル運営業を開始し、川崎港コンテナターミナルの管理運営を行っています。

倉庫業に関しては、昭和35年の設立以来、公共ふ頭に立地する優位性を活かし、川崎港を利用する 貨物を中心に地元地域の声に応えながら公共ふ頭の利便性を高め、自社で保管倉庫を有することができ ない地元中小港湾業者へ向けた、低廉かつ安定した保管場所の提供に取組むなど、公共性・公益性豊か な事業展開を実現し、川崎港並びに地元港運業界の発展に寄与しています。

川崎港コンテナターミナルの管理運営に関しては、川崎市有財産であるコンテナヤード等は京浜港(横浜港・川崎港)の特定港湾運営会社である横浜川崎国際港湾株式会社と共同事業体を組み、川崎市より指定管理者と指定され、また、国有財産である岸壁は、横浜川崎国際港湾株式会社から借り受けて、コンテナヤード等と岸壁を一体的効率的な管理運営を行っています。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
√環境 □社会 □経済	年間の CO2 排出量を削減するため、照明の LED化を推進する。	【現状】0t-co2(削減量) 【目標】22.137995t-co2(削減量)
√環境 √社会 √経済	地域経済活性化と環境負荷低減のため、当社 が発注する役務や工事等について、近隣企業 との契約件数比率を高める。	【現状】89.7% (契約件数比率) 【目標】92.1% (契約件数比率)
✓環境✓社会□経済	平屋倉庫10棟の庫内温度上昇を抑制し、労働環境を改善する目的で、折板屋根に遮熱塗料を塗装して室内温度を低下させる。	【倉庫全体】 13,170.0 ㎡ 【現 状】更新 1,260.1 ㎡ (9.6%) 【目 標】更新 11,909.9 ㎡ (90.4%)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ デ ゴ チェック項目 キェック項目 キェック項目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・													項目								
	テ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 11	12 13	14 1	5 10	3 17				
	コーリー	, — , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	併せて記載してください。)			3 ************************************	4 BORDORNY	DANG-TER RECAL T	6 PROPERTY P	A STATE OF THE STA	9 ## M	\$ 1	10 (4000) 11 BADDON 12 BADDON	13 ::::::	14 #55**** 15 #	16 **nase	17 (11)				
1	人 権 •	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整 備し、差別がないことを確認している	・セクシャルハラスメント防止規程を設けており、会社及び社員が規程の趣旨を理解し、健全な職場環境を実現するよう努めている。 ・総務課長を相談窓口としている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2			16 16 16	.2				
2	割	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体 制を整備している	・ハラスメントを禁止する旨社内規程に明記している。 ・総務課長を相談窓口としている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8					16	.1				
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・労働基準法、労働安全衛生法等の関係法令を遵守している。 ・社内で複数の業務を兼務することにより、業務に支障が生じないよう支援体制を整え、長時間労働とならぬ体制を整えている。								8.5 8.8										
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								
5	-	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・社内規程に安全衛生規則を設けており、社員の職場における安全及び衛生に関する事項を定め、安全衛生管理者を選定し、安全推進者・衛生推進者で構成する組織を設け、社員の安全と健康の確保に努めている。 ・労働災害防止を目的とする港湾労災防止協会、安全衛生協議会等に参加し、定期的にパトロールを実施し、事故防止等に努めている。			3					8										
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・管理者が定期的にメンタルヘルスに関する講習を受講し、メンタルヘルスに関する理解を深めている。 ・(予定)メンタルヘルスに関する方針と計画をたてる。			3															
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の 整備に取り組んでいる	・(予定)多様な人材が活躍できるよう、社内規程の整備に取り組んでいる。					5.1 5.5			8.5		10.2								
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・(予定)社員研修計画を策定する。 ・(予定)高度で有益な資格修得支援と資格手当制度 を策定する。 ・積極的な外部研修の受講を認め、多様な能力の向 上の機会を確保している。 ・職務や役職に応じた外部研修の参加を推進してい る。 ・社内規程に資格取得奨励金支給を設け、社員の自 己啓発に対する意識や資質及び能力の工場を促進し ている。				4	5.5			8	9									
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・社内規程を設け、適切な対応をしている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・会社が費用を負担し、2次健診(半日ドッグ等)の受診を推奨している。福利厚生を充実させ、働きやすい環境を整備することで、生産性の向上に努めている。			3					8										

カ テ 具体的な取組 <u>まなSDGs(17ゴールと169ターゲ</u> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10																					
	テー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、			3		5 6						12 13		15 1	6 17				
	ゴリ	/エックペロ	併せて記載してください。)	155 MHM	2 ****	3 Estado —W	4 seec 5 see	6 500000	7 2546-644	8 ####	9 =====================================	10 x 00 x	1 24 200 A	2 SCARRE 13 ARRECT ARREST ARRE	14 magnets	15 ***** 16 ****	17 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::				
11		【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュー ス、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	 ・不要な紙を廃棄するのではなく、ペーパーリサイクルボックスを導入し、リサイクルに努めている。 ・再生紙を利用している。 ・エコマーク商品の購入等、グリーン購入を実践していく。 ・燃えるゴミ・プラスチックごみ・ペットボトル・段ボール等を分別して廃棄するよう努めている。 										11.6	12.4	14.1						
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用 の効率化を図っている。						7.3	3				13							
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減に取り組んでいる。						7.2 7.3	2				12.4 13.3							
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に 取り組んでいる				3.9		6.3	3				11.6	12.4							
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.0	6							15					
16		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4													
17		【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9		6	7					12 13.3	14	15					
18		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・環境の取り組みに関する情報をホームページで開示 している。											12.6							
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・ 倉庫の屋根を利用した太陽光パネルの設置による発電事業及び電気供給・販売等に取り組んでいる。						7.2	2				13							
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2 13	14	15					
	製品・	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・定期的に施設を巡回することにより、安全性等を確認 し、改善に取組んでいる。			3.9								12.4							
22	サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・長期修繕計画を策定し計画的に修繕を実施するとと もに定期的に利用者の意見等を聴取し、サービスの向 上を図っている。								9										
23		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる						6						12 13	14	15					

カ 主なSDGs(17ゴールと169ターゲッテ ・											<u>ゲッ</u>										
	テ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、	1	2	3	4	5	6		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	ゴリ		併せて記載してください。)			3 HATTERS	4 ENEL-ENT	5 xx121	6 SESSECTION SESSECTIO	7 th	FRANCE PROSE	8 ####	9 11111111111	10 APRATES	11 :::::::::::::::::::::::::::::::::::	12 :::::	13 PREFEC	14 Registre	5 ***** 16	Precedit	**************************************
24		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・津波避難施設として施設を開放するとともに災害時に 自動販売機の飲料水を無償提供できるよう自動販売 機業者と契約している。	1	2	3	4	5	6		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・川崎港の発展に向け、地元企業の事業活動を支える とともに、多様な主体と連携した様々な活動を通じて、 地域社会に貢献している。				4						9		11	12		14	15		17
26	• 地 域	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・日本赤十字社・赤い羽根共同募金等への寄付や、東 扇島クリーン大作戦、川崎港放置自動車等対策連絡 協議会に参加する等し、社会貢献活動に積極的に取り 組んでいる。				4								11			14	15		17
27	貢	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	・川崎市内業者へ工事等の優先発注に努めている。									8	9		11	12	13				
28	組織体	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・SDGsの達成に向け、社内で共有している。									8	9								17
29	制	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが 社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している																		16	
30		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備 している																		16	
31		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす 影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)																		16	17
32		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジ メントするプロセスを整備している																		16	
33		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																		16	
34		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・(予定)BCPを作成し、事故や災害等の発生時に事業継続できるよう努めている。										9		11		13.1			16	
35		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている										8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15 1	16 17

SDGS達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地: 神奈川県川崎市川崎区千鳥町7番1号

名 称: 川崎臨港倉庫埠頭株式会社

代表 者: 代表取締役 髙橋 哲也

登録年月日: 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
√環境 □社会 □経済	年間の CO2 排出量を削減するため、照明のLED化を推進する。	22. 137995t-co2 (削減量)	【令和 4 年度比較】 26. 920499t-co2(削減量)
√環境 √社会 √経済	地域経済活性化と環境負荷低減の ため、当社が発注する役務や工事 等について、近隣企業との契約件 数比率を高める。	【目標】86.6% (契約件数比率)	【令和 4 年度】 82.1%(契約件数比率)
√環境 √社会 □経済	平屋倉庫10棟の庫内温度上昇を 抑制し、労働環境を改善する目的 で、折板屋根に遮熱塗料を塗装し て室内温度を低下させる。	【倉庫全体】13,170.0 ㎡ 【目標】更新 11,909.9 ㎡(90.4%)	【令和 4 年度】更新 1, 544. 6 ㎡(11. 7%) 【令和 4 年度まで】更新 2, 804. 7 ㎡(21. 3%)